





寛永十三年  
義公加元服年  
九歳十七年任  
中将時年十三  
按此卷文章  
在任中将後  
蓋公十五六歳  
之時也異日誦  
各勵行奉  
名于天下者  
未必不由此卷  
之力 威公  
選拔保傳  
良有以也

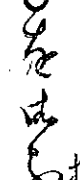
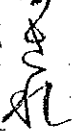
小野角海言負の寛永十三年 西山公法元服此時將院も頭兼



命せられ 西山公よりし諫草此寫し


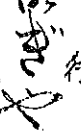
おそれある言上


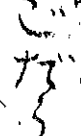
世よりとりきく侍の  

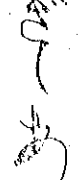
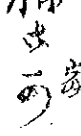
つまこみぎし  

いひあがりあのはを  

いひ  

あは  

う  

だん  

取沙汰

指 前 振 出 歩行

合 礼

高貴

家督

言語

同

家

家

家